令和7年度秋季リーグ戦

試合詳細

2回戦 第1試合

京大2-15立命

【10月5日(日) ほっともっとフィールド神戸 試合開始13:03 終了15:42 試合時間 2時間39分】 [球審] 和田(近大OB) [一塁審] 大井(関学OB) [二塁審] 倉谷(同大OB) [三塁審] 村司(関学4年生)

> 勝利投手:有馬(1勝2敗) 敗戦投手:玉越(0勝4敗)

	_	=	Ξ	四	五	六	七	八	九	R
京大	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
立命	0	5	0	0	2	0	8	0	х	15

<戦評>

立命が打撃で圧倒し、先勝した。

立命は1点を先制され迎えた2回、神谷(1・中京大中京)が四球で出 塁すると、福井(3・岐阜第一)の左越適時二塁打で同点に追いつく。 その後も好機は続き、坂下(4・立命館慶祥)の適時二塁打や岩間(3・ 立命館宇治)の犠飛などでこの回一挙5点を挙げ逆転に成功する。

5回には、福井の左越二塁打で二死二塁の好機を作ると、花田(4・ 立命館守山)が左前適時打を放つなど、2点を追加する。

立命はその後も能美(3・金沢)が満塁本塁打を放つなど得点を重 ね、京大を突き放した。

投げては、先発有馬(3・愛工大名電)が5回6奪三振1失点の好投を見 せ、今季リーグ戦初勝利を挙げた。

敗れた京大は、先制点を奪うも投手陣が精彩を欠いた。

	立命	京大
投手	有馬、芝本、勝田、浅野 太	玉越、米倉、松尾、宮島
捕手	西野、加藤翔	南
本塁打	能美1号満塁(7回)	
三塁打		
二塁打	福井2、坂下2、岩間	坂井
犠 打	有馬、岩間	
併殺		
残 塁	10	6
盗 塁	福井、能美2	細見
失 策		渡辺、南
暴投	勝田	玉越
捕逸		

立命

F 0.7	11	/4 十个公库兴	_	_	_	_	_
[8]	坂下	(4 立命館慶祥)	6	2	2	3	0
[6]	川端	(3 初芝橋本)	2	1	0	0	3
R	丸岡	(3 報徳学園)	0	0	0	0	0
6	内藤	(4 清教学園)	0	0	0	0	1
[7]	岩間	(3 立命館宇治)	3	2	3	0	2
[9]	星野	(3 立命館宇治)	6	1	0	1	0
[3]	角井	(4 智辯和歌山)	2	1	1	0	3
[4]	神谷	(1 中京大中京)	2	0	0	1	1
Н	野寺	(4 立命館宇治)	1	0	0	0	0
4	川本	(4 福工大城東)	1	1	2	0	0
[5]	福井	(3 岐阜第一)	5	3	1	0	0
[2]	西野	(3 高知)	3	0	0	0	1
Н	築山	(2 立命館宇治)	0	0	0	0	1
2	加藤翔	(4 中京大中京)	0	0	0	0	0
[1]	有馬	(3 愛工大名電)	1	0	0	0	0
Н	花田	(4 立命館守山)	1	1	1	0	0
1	芝本	(3 社)	0	0	0	0	0
Н	三木	(4 神港学園)	1	0	0	0	0
R	能美	(3 金沢)	1	1	4	0	0
1	勝田	(2 彦根総合)	0	0	0	0	0
1	浅野太	(4 金津)	0	0	0	0	0
	計		35	13	14	5	12

	0	球数	打者	安	振	球	責
有馬	5	60	18	З	6	0	1
芝本	2	26	8	0	0	2	0
勝田	1	15	6	2	1	1	1
浅野太	1	11	3	0	3	0	0
計	9	112	35	5	10	3	2

		京大					
位置	名前	学年 出身校	打	安	点	振	球
[5]	田澤	(1 札幌南)	4	0	0	2	0
[9]7	髙井	(1 函館中部)	2	1	0	0	2
[4]	細見	(4 天王寺)	4	2	0	1	0
[3]	坂井	(3 豊中)	3	2	2	1	1
[8]	山本	(4 藤島)	4	0	0	2	0
[7]	岡本	(4 四日市)	2	0	0	0	0
H9	中井	(4 長田)	2	0	0	1	0
[2]	南	(4 仙台第二)	3	0	0	0	0
Н	松本径	(3 小野)	1	0	0	1	0
[6]	渡辺	(2 県立船橋)	3	0	0	0	0
Н	佐々木	(3 県立船橋)	1	0	0	1	0

[1]	玉越	(3 桐朋)	1	0	0	0	0
1	米倉	(4 洛星)	0	0	0	0	0
Н	中島	(4 城北)	1	0	0	1	0
1	松尾	(4 福岡)	0	0	0	0	0
Н	山崎	(3 高槻)	1	0	0	0	0
1	宮島	(4 膳所)	0	0	0	0	0
	計		32	5	2	10	3

		球数	打者	安	振	球	責
玉越	12/3	52	14	4	1	5	5
米倉	21/3	30	9	2	1	0	0
松尾	3	95	23	7	3	6	5
宮島	1	11	3	0	0	1	0
計	8	188	49	13	5	12	10

関西学生野球連盟 KANSAI BIG 6